

大津市勤労福祉センター講座

白洲正子 『かくれ里』 紀行

白洲正子の名作「かくれ里」から白洲正子が感じたものを探り出すと共に、日本文化の深層、日本人の持つ感性の継承について語ります。

1回目：5月8日(水)

神を創造する「かくれ里の民」

皇室に繋がる貴人を神として迎えたのはなぜか？

3回目：6月12日(水)

近江に向かう十一面観音の旅

越前 平泉寺



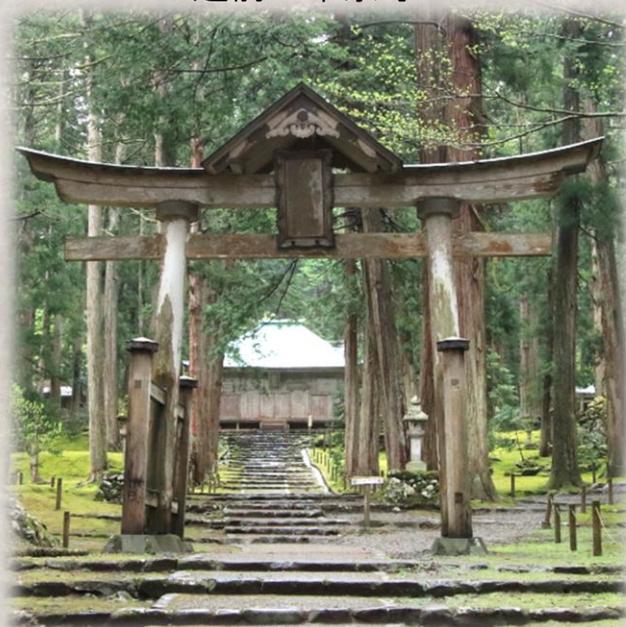
石塔寺 三重の塔

2回目：5月29日(水)

「石」に宿る暖かな心

近江には多様な石文化が残されています。

石塔・石仏・磨崖仏・石垣・磐座。何故、近江に石文化が華開いたのか？



4回目：6月26日(水)

千日回峰行の意味

日時：5月8、29日、6月12、26日(水)

時間：13:30～15:30 費用：3600円 全4回

(資料代含む)

講師：大沼芳幸 定員：60名 場所：大津市勤労福祉センター

大津市勤労福祉センター 大津市打出浜1-6 電話 077-522-7474 FAX 077-522-7500

438_otsukin@house-bs.co.jp

電話、FAX、メールにてお申込み下さい。ホームページをご覧ください。